

## 評価基準表

|    |                     |
|----|---------------------|
| 件名 | 周南市都市計画シミュレーション業務委託 |
|----|---------------------|

### 技術資料に対する評価(一次評価)

| 評価対象   | 評価事項           | 評価基準  | 必須項目   | 評価点                     |   |
|--|----------------|---|--|-------------------------|---|
| 参加表明者(単独企業又は共同企業体の代表企業)の経験及び能力   | 専門技術力<br>(様式2) | 国または地方公共団体が発注する「Project PLATEAU」に参画した3D都市モデルユースケース開発に関する業務の完了実績により、経験及び能力を以下の3段階で評価<br>A:業務実績5件以上<br>B:業務実績3件以上<br>C:業務実績1件以上   | ○<br><br>公告日までに完了した業務実績  | 5                       |   |
|  | 企業の取組<br>(様式3) | 下記の認証規格等の取得・維持により、企業として品質の向上、セキュリティ対策などに取り組んでいることを、以下の4段階で評価<br>・品質マネジメントシステム<br>・情報セキュリティマネジメントシステム<br>・個人情報保護マネジメントシステム又はプライバシーマーク<br>・環境マネジメントシステム<br>A:取得・維持している認証規格4件<br>B:取得・維持している認証規格3件<br>C:取得・維持している認証規格1件以上<br>D:取得していない | 公告日現在  | 5                       |   |
| 配置予定者の経験及び能力   | 管理者            | 専任性<br>(様式5)  | 手持ち業務金額及び件数に応じて、当該業務における専任度を以下の2段階で評価<br>A:専任性が高い(3件以下)<br>B:普通(4件以上)  | ○<br><br>公告日現在<br>10件未満 | 5 |
|  |                | 専門技術力<br>(様式6)  | 【関連業務実績】<br>国または地方公共団体が発注する「Project PLATEAU」に参画した3D都市モデルユースケース開発に関する業務の完了実績により、経験及び能力を以下の3段階で評価<br>A:業務実績3件以上<br>B:業務実績2件<br>C:業務実績1件  | ○<br><br>公告日までに完了した業務実績 | 3 |
|  |                |   | 【類似業務実績】<br>国または地方公共団体が発注する「Project PLATEAU」に参画した3D都市モデルユースケース開発に関する業務のうち、<br>【分野】<br>・都市計画/まちづくり<br>に該当し、かつ、本業務との整合性が高い業務完了実績があり、本業務を実施するにあたり有効な経験及び能力を以下の3段階で評価<br>A:上記の分野に該当する類似業務実績がある<br>B:上記の分野に該当しない類似業務実績がある<br>C:類似業務実績なし | 公告日までに完了した業務実績          | 5 |
| 主たる担当者   | 専任性<br>(様式5)   | 手持ち業務金額及び件数に応じて、当該業務における専任度を以下の2段階で評価<br>A:専任性が高い(3件以下)<br>B:普通(4件以上)   | ○<br><br>公告日現在<br>10件未満  | 5                       |   |
|  | 専門技術力<br>(様式6) | 【関連業務実績】<br>国または地方公共団体が発注する「Project PLATEAU」に参画した3D都市モデルユースケース開発に関する業務の完了実績により、経験及び能力を以下の3段階で評価<br>A:業務実績3件以上<br>B:業務実績1件以上<br>C:業務実績0件   | 公告日までに完了した業務実績   | 2                       |   |
| 【類似業務実績】<br>国または地方公共団体が発注する「Project PLATEAU」に参画した3D都市モデルユースケース開発に関する業務のうち、<br>【分野】<br>・都市計画/まちづくり<br>に該当し、かつ、本業務との整合性が高い業務完了実績があり、本業務を実施するにあたり有効な経験及び能力を以下の3段階で評価<br>A:上記の分野に該当する類似業務実績がある<br>B:上記の分野に該当しない類似業務実績がある<br>C:類似業務実績なし |                | 公告日までに完了した業務実績  | 5  |                         |   |
| 一次評価 小計  |                |   |  | 35                      |   |

# 技術提案に対する評価(二次評価)

| 評価対象  | 評価事項   | 評価基準  | 評価点 |  |
|---|--|---|-----|--|
| 業務の実施方針等  | 業務理解度<br>(様式9)                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>当該業務の目的、条件、内容に対する理解度が高い</li> <li>質問に対する回答が明確で適当か</li> </ul>  | 10  |  |
|   | 業務実施体制<br>(様式9)                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務の分担構成が明確か</li> <li>各担当分野に適切な業務実績を有する者が配置されているか</li> </ul>  | 10  |  |
|   | 実施手順<br>工程表<br>(様式9)                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い</li> <li>業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い</li> </ul> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シミュレーションモデル作成までを1月まで、データ譲渡手続きを2月末までに完了できる実施フロー及び工程計画となっているか。</li> </ul>  | 10  |  |
| 業務提案内容  | テーマ①:新たな施設整備及び街路空間再編に関する検討等における、導入予定ソフトウェア等の活用方法について |   |     |  |
|   | 提案内容的確性<br>(様式10)                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>提案内容が、業務目的と整合性が高い</li> <li>実施方法、内容等が的確に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い。</li> </ul>   | 10  |  |
|   | 提案内容の実現性<br>(様式10)                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>実施にあたっての手順、方法などが整理されており、提案内容に具体性がある。</li> <li>提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている。</li> </ul>  | 10  |  |
|   | 3Dモデルの<br>再現性<br>(ヒアリング)                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>再現したまちなみが、下記の視点との整合性が高く、職員や市民がわかりやすいものとなっている。</li> </ul> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>俯瞰的なまちなみが、リアルで、再現性が高いか</li> <li>歩行者視点等、ポイントから見たまちなみが、リアルで、再現性が高いか</li> <li>歩行者及び自動車のモデル及び動作用が、リアルで、職員や市民がわかりやすいものとなっている。</li> </ul>  | 25  |  |
|   | まちづくりに関する<br>検討の有益性<br>(様式10)                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>様々なシミュレーションなどにより、新たな施設整備や街路空間再編、ウォークアブルなまちづくりのエリア・ルート検討等に有益性が高い。</li> </ul> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たに整備を計画する建物や街路再編の整備イメージ(3Dモデル)を導入予定のソフトウェア等で職員自らが可視化でき、庁内・外部会議等において共通認識を図るものとして活用できるか</li> <li>新たに整備を計画する建物や既存道路の改修等の検討の際に、職員自らが建物の配置や規模、植生の種類や配置、街路の舗装、他の施設との位置関係など、歩行者視点からの景観検討に活用できるか</li> <li>シミュレーションを行う機能、コンテンツなどが豊富で様々な検討を行うことが可能か</li> <li>歩行者や自動車の交通状況や道路内の各施設及び周辺施設等との位置関係から、職員自らがウォークアブルな空間の創出及びエリア価値の向上につながる施策検討に活用できるか</li> </ul> | 30  |  |
| テーマ②:本業務以外のまちづくりに関する検討やデジタルツインの実現に向けた他分野における導入予定ソフトウェア等の活用可能性について |  |   |     |  |
|   | 提案内容的確性<br>(様式10)                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会経済情勢等との整合性が高い。</li> <li>着眼点、問題点、活用方法等が整理されている。</li> </ul>  | 10  |  |
|   | 導入予定ソフトウェア等の活用可能性<br>について<br>(様式10)                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>機能追加などにより、テーマ①以外の「都市計画/まちづくり」分野に関する検討又は下記の別分野での活用が将来的に可能である。</li> <li>実施する研修内容が、3D都市モデルも含め、別分野での有用性を示した内容となっている。</li> <li>別分野で作成若しくは既に有するデータ(CADデータ等)を活用できる。</li> </ul> <p>【別分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災/防犯</li> <li>観光/地域活性化/コンテンツ</li> <li>環境/エネルギー</li> <li>交通/物流/モビリティ</li> <li>住民参加</li> <li>その他</li> </ul>   | 15  |  |
|   | 導入予定ソフトウェア等の<br>操作性<br>(ヒアリング)                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>導入予定ソフトウェア等が職員にとって、わかりやすく操作しやすいものとなっている。</li> </ul> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直観的に視点の操作ができるか</li> <li>まちなみを再現する多様な条件(昼夜、時間、天候等)を容易に切り替えることができるか</li> <li>整備イメージ(3Dモデル)を容易に可視化・編集できるか</li> <li>歩行者や自動車の交通状況の条件を容易に変更できるか</li> </ul>  | 25  |  |
| 価格評価  | 参考見積価格<br>による評価<br>(見積書)                             | 10点×最低提案価格/提案者提案価格<br>※小数点以下四捨五入  | 10  |  |
| 二次評価 小計   |  |   | 165 |  |
| 合計  |  |   | 200 |  |